

大阪歯科大学 楠葉キャンパス 楠葉西学舎



外観

「大阪歯科大学」は、110年以上の歴史を誇る、関西で唯一の歯学部を設置する私立大学。2024（令和6）年に新たに看護学部を開校し、医療系総合大学に。主にその学修環境となる新棟が竣工された。



1F 食堂 トイレ入口

学生や教職員のみでなく地域の方も利用できるコミュニティスペースとして、地域交流サロンを1Fに設置。隣接する食堂には、多様な利用者に対応し、男性・女性トイレとバリアフリートイレを設置している。



1F 食堂
バリアフリートイレ

車いす使用者やオストメイトなど幅広い利用者に配慮し、背もたれや手すり、汚物流しを備えたバリアフリートイレを設置している。



1F 食堂 男性トイレ
洗面・小便器コーナー

洗面コーナーには、衛生面に配慮し非接触で手洗いができる自動水栓を採用。小便器は、床の清掃性や節水性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を設置し、多様な利用者に配慮して手すりを1ヶ所設けている。



1F 食堂 女性トイレ 全体

女性トイレには、洗面コーナーとともにスタイリングコーナーを設置。各々の利用者の動線を分け、混雑緩和を図るとともに、ほかの利用者を気にせず身だしなみを整えられるよう配慮したレイアウトとなっている。



1F 食堂 女性トイレ
スタイリングコーナー



スタンディングタイプのスタイリングコーナーには、個別鏡を採用。使いやすい荷物配慮として棚を二段設置。上段は化粧ポーチなどの小物置き、下段は縁を立ち上げ大きな荷物を置いても落ちないように工夫している。



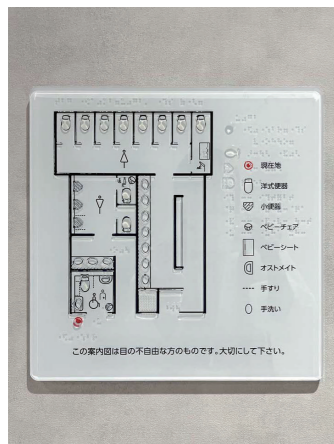
1F 食堂 女性トイレ
大便器ブース

大便器ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げ、利用者のプライバシーや防犯に配慮。また、地域の方の利用も想定して、広めのブースには、ペーパーシートを設置している。



1F 食堂 手洗いコーナー

食堂には、飲食の前後や手が汚れた時に使用できる手洗いコーナーを設置。水栓は、衛生面に配慮して非接触で手洗いができる自動水栓を採用している。



1F 食堂 触知図・サイン

視覚障がいの方に配慮し、トイレ前の壁に触知図を設置。サインは「地域とのつながりを育むキャンパス」という施設コンセプトから、つながりを意識した線形のデザインとし、視認性にも配慮している。



2F 講義室 トイレ入口

2F 講義室近くに位置するトイレは、手前が男性トイレ、奥が女性トイレとなっている。講義室は、大学の授業はもちろんのこと、国家試験の際にも会場として利用される。



2F 講義室 男性トイレ
洗面・小便器コーナー

トイレは、1Fと同様に清潔感のある白を基調とした空間に、明るい木目調やモザイクタイルをアクセントとした内装。男性も身だしなみを整えられるよう全身鏡を設置している。



2F 講義室 女性トイレ
全体

2Fには、防犯対策のため死角が生まれないよう、洗面コーナーとスタイリングコーナーの間に視認性のあるパーテーションを設置している。

大阪歯科大学 楠葉キャンパス 楠葉西学舎



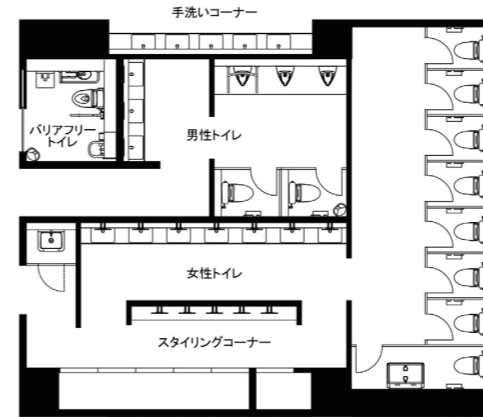
2F講義室 女性トイレ
洗面コーナー

2F講義室は大人数の講義だけでなく、外部の方を招いたレセプションなども想定しているため、洗面コーナーの器具数や広さにゆとりを持たせている。水栓は、利用者が湯水の切り替えを行える自動水栓を設置している。



2F講義室 女性トイレ
大便器ブース

大便器は、連続洗浄が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。女性トイレには防犯対策として、すべての大便器ブースに呼出ボタンを設置している。



1F食堂 トイレ図面

教員や学生だけでなく、だれもが使いやすいトイレを目指した。女性トイレのスタイリングコーナーや、車いす使用者・オストメイトに配慮したバリアフリートイレを設置。多様な利用者に対応可能な空間となっている。



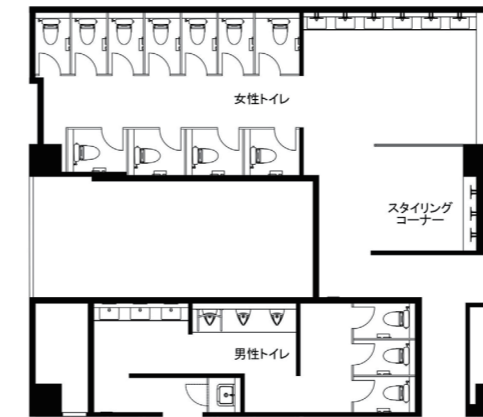
5F来賓用 トイレ入口

5Fは、教職員の研究室や来賓室があり、来賓の方の利用も想定されることから、伝統を誇る大阪歯科大学の品格と医療の精神を体現する、明るさのなかにもシックで清潔感のあるトイレとしている。



5F来賓用 男性トイレ
洗面・小便器コーナー

内装は、大阪歯科大学の品格を表現し、落ち着いたある木調とシックなモザイクタイルをアクセントしたデザイン。器具は、衛生面やメンテナンス性に配慮し、自動水栓や壁掛型の自動洗浄小便器を採用している。



2F講義室 トイレ図面

2F講義室は、大人数の講義に限らず、外部の方を招いたレセプションやイベントなどの開催を想定しているため、トイレは、器具数や空間の広さにゆとりをもって計画している。



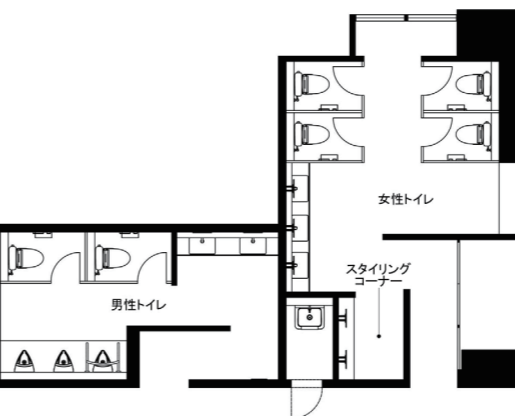
5F来賓用 男性トイレ
大便器ブース

リモコン便器洗浄ユニットは、衛生配慮の観点から非接触で使用できるセンサースイッチを採用。さらに、男性トイレにも、女性トイレと同様に擬音装置「音姫」付きのエコリモコンを設置している。



5F来賓用 女性トイレ

男性トイレと同様に女性トイレもシックな内装材を選定し、落ち着いたある空間を演出。女性の身だしなみにおけるニーズが高いことから、2名が同時利用できるスタイリングコーナーを設けている。



5F来賓用 トイレ図面

ほかのフロアと同様に、女性トイレには身だしなみ配慮としてスタイリングコーナーを設置している。

水まわりの特長

建物の特徴

1911(明治44)年創設の「大阪歯科大学」は、110年以上の歴史を誇る、関西で唯一の歯学部を設置する私立大学。2024(令和6)年に新たに看護学部を開設、歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・社会福祉士・看護師・保健師の人材を育成する医療系総合大学を目指している。看護学部の学修環境として新設した楠葉西学舎のコンセプトは、「人とのつながり、地域とのつながり」を育むキャンパス。訪問看護など看護師が働く場所が多様化している中で、地域との関りの重要性を鑑みる。最寄り駅から徒歩5分という立地のよさを生かし、通り沿いにカフェ・食堂、ODUみんなの保健室、地域交流サロンを配置。地域のお子様から高齢者まで、あらゆる人が利用できる施設となっている。

水まわりの特長

新棟のコンセプトから、学生や教職員のみでなく、地域の方の利用も考慮し、老若男女問わず利用しやすいトイレを目指された。コミュニティスペースである1F食堂のトイレは、男性・女性トイレのほか、車いす使用者やオストメイトに配慮したバリアフリートイレを設置。2F講義室のトイレは、大人数が出席する講義はもとより、外部の方を招いたレセプションの開催、国家試験の会場となることを想定し、器具数や空間の広さにゆとりをもって計画している。5F来賓用トイレは、シックで落ち着いた内装ではほかのフロアのトイレと差別化し、伝統を誇る大阪歯科大学の品格と医療の精神を体現。設置される場所にふさわしく、さまざまな利用者を考慮した細やかな配慮や整備により、使いやすいトイレ空間となっている。

建築概要

名称	大阪歯科大学 楠葉キャンパス 楠葉西学舎
所在地	大阪府枚方市楠葉花園町11-8
施主	学校法人大阪歯科大学
設計	株式会社 類設計室
施工	建築 株式会社大林組 設備 株式会社 きんでん

竣工年月	2024年3月
敷地面積	10,128.06㎡
建築面積	3,117.78㎡
延床面積	10,163.42㎡
構造・階数	鉄骨造・地上5階

おもなTOTO使用機器

- パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BT
- ウォシュレット アプリコットP(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5831AE
- 棚付二連紙巻器:YH702
- 自動洗浄小便器:UFS900JCS
- 壁掛ハイバック洗面器:LSG125AAR
- 壁掛手洗器:LS90AAP系
- 台付自動水栓:TENA12H
- 壁付自動水栓:TENA125AH
- 自動水栓一体形電気温水器:TENA127AHA
- コンパクトオストメイトパック:UAS81RSB2NW
- 背もたれ:EWC283CR
- パブリック用手すり:T112CL11、T112HK7R
- フック:YKH22
- 化粧鏡:YMK51K